

かさね塚

大正大学教授 玉山成元

祐天寺の山門を入れて右側に、大きな自然石で作られた「かさね塚」がある。大正十二年（一九二三）二月、歌舞伎座で興行した『色彩間苺豆』（かさね）が大評判となり、連日大入りが続いた。それを記念し、同年五月、六代目尾上梅幸、十五代目市村羽左衛門、五代目清元延寿太夫の三人が施主となって、ゆかりの深い祐天寺境内に立てられた。

寛文八年（一六六八）六月、祐天上人は、お師匠さんの檀通上人と一緒に、下総国飯沼弘経寺（茨城県）に住んで、きびしい修行の生活を続けた。このころ近くの羽生の里に菊という女性が住んでいた。寛文十一年、母に死にわかれた菊は、この年の暮に金五郎と結ばれたが、翌年の正月、急にノイローゼとなり、父と右衛門が以前妻の累を殺したときの様子を、見てきたように口ばしした。そして自分は累である。にくい与右衛門を殺してやるといってあばれまわった。与右衛門は恐ろしくなって近くの法蔵寺にかくれ、婿の金五郎は実家に帰ってしまった。

近所の人々もいろいろ手をつくしたが、どうすることもできず、困りきっていた。その話を聞いた祐天上人は、菊の枕もとで十念を授け、さらに近所の人々と一緒に百万遍の念仏を行った。そのかいあって菊は落ちつきをとりもどすことができたといい。

祐天上人の不思議な力はいちやく有名となり、羽生村法蔵寺の伝説として、『新著聞集』や『近世奇跡考』に記され、元禄三年（一六九〇）には『死霊解脱物語聞書』が作られた。この後いろいろ脚色されて小説や狂言などになったが、馬琴の『新累解脱物語』が出るとさらに広まり、歌舞伎にも取り入れられた。享保十六年（一七三一）七月、江戸市村座にかげられた。「大角力藤戸源氏」は評判となり、大入りが続いた。この後、京都や大阪でも行われたが、一九世紀に入ると歌舞伎の流行とともに、一般には『かさね』という題で親しまれるようになった。現在行われている『かさね』の基礎になったのは、文政六年（一八二三）江戸森田座で上演された『法懸松成田利剣』である。これは鶴屋南北の書いたもので『かさね』はその二番目、木下川堤の道行の場面である。清元の名曲には次のように語られている。

羽生村の百姓助の女房お菊は、久保田金五郎と良い仲になってかけおちした。まもなく甲州（山梨県）石和川でお菊は死んだ。金五郎はお菊を埋葬したが、そのとき夫の助に見つけられ争いとなった。金五郎は助を鎌で殺して逃げてしまった。金五郎は与右衛門と名前をかえたが十数年後に奥女中の累と深い仲になった。どうにもならない二人は、心中を約束して旅立った。木下川の堤まで来たとき、岸边に流れてきたのは、さびついた鎌がささったままの助の頭骸骨であった。与右衛門が頭蓋骨からその鎌をぬくと、助のうらみで累はたちまち顔がかわり、二目と見られないみにくい女性となり、体つきも変わってしまった。しかも話を聞くと助の娘ということがわかったため、与右衛門は土橋の上で累を殺してしまうと

## かさね塚

大正大学教授 玉山成元



いう内容である。

のどかな野辺に清らかな木下川が流れ、緑にかこまれた森からは鳥の声がきこえる。黒の紋付を着た与右衛門と、美しく着かざった奥女中姿の累、美男美女の道行は、まさに絵にかいたようである。前半は与右衛門の愛を信じ頼りきった累のかわいらしさが目につく。ところが罪をおかして追われている与右衛門の回状をラブレターと間違えた累は嫉妬し、だんだん変わってゆく。しかも鏡で自分の顔がみにくくなったことを知った累が嘆く

ところは、この舞踊のみどころである。鎌で斬られたあと、累は片袖をぬぐと、紅葉を散らした長襦袢が、ちようど飛び散った血潮のように見える。重い足を引きずりながら土手へあがり、傘で与右衛門を押してゆく姿など、すさまじい女の恨みが表現されている。恋する女の気持ち強いだけに、恨みや嫉妬が強く出て、地獄の苦しみを味わうのであろう。『かさね』は舞踊であるが、劇的な要素が強い。ため、よほどの実力がなと踊りこなせない。大正十二年歌舞伎座の興行は、当代

名役者の競演であっただけに感銘を与え、大評判になったのであろう。

『かさね』を見て祐天上人との結びつきを考える人は少なからう。脚色を重ねた舞踊であり『法懸松成田利剣』の一部であるだけに無理かもしれない。しかし、もとをさぐれば祐天上人の偉大な教化が語りつがれたものであり、意義深い。

広い境内の道ぞえにある「かさね塚」は、多くの卒塔婆に囲まれ、今日もまたお線香の煙が立ちのぼる。『かさね』を上演する役者さんは、かならず祐天寺をたずねて「かさね塚」に参詣し、無事に踊りきることを祈るといって参詣する人も癒のご利益もあるといって参詣する人も多いときく。このあいだ祐天寺をたずねたときは、いきなご婦人が一心に拝んでいた。おさらい会でも近いのであろうか。成功を祈る気持で寺を後にした。